

市政情報

求人・募集

催し  
発表・鑑賞

案内  
セミナー

ごみ  
カレンダー

スポーツ  
公民館

健康・福祉  
中央図書館

相談の案内

高齢者

子育て

コラム

フォト  
ニュース



## 2/8 特産のワインが解禁

甘口で飲みやすいいちじくワイン、販売開始  
川西産いちじく「朝採りの恵み」100%で作った白ワイン「川西の朝露」の販売が始まりました。山梨のワイナリーで今年は約3,000本を限定生産。JA兵庫六甲川西営農支援センターや市内約50の酒販店で販売されます。



## 1/26 春日神社で消防訓練

文化財防火デーに約30人参加  
市内の寺社などで行われる文化財防火デー消防訓練。市民の財産である文化財保護への関心と、防火意識を高めるために行われています。消防職・団員と神社関係者が参加し、消火活動だけでなく、宝物の搬送などを訓練しました。



## 2/4 猪名川の自然を守る

猪名川クリーン作戦で河川のごみを一掃  
猪名川クリーン作戦実行委員会が、猪名川と藻川の自然保護のため、清掃活動と生物観察を行いました。52の団体や企業から1,000人以上が参加。猪名川上流から尼崎市までに分かれ、それぞれが袋いっぱいにごみを回収しました。



## 2/2 健康増進に尽力

保健衛生行政功労者4人に感謝状  
保健衛生行政の推進に大きく貢献した、市医師会の梶山泰男さん、田口恵造さん、市歯科医師会の吉田英昭さん、松村吉克さん。日々の活動を称え、市長から感謝状が贈られました。



## 1/22 里山の桜を植え付け

キセラ川西にシンボルツリー「エドヒガン」  
2年以上前から準備を進めてきたプロジェクトの一環で、黒川地区に自生する「エドヒガン」をキセラ川西に移植するイベントを開催。約350人が参加し、プラントハンターの西畠清順さんの声掛けで植え付けました。



## 2/9 菊炭の窯出し始まる

黒川にたった1軒残る炭焼農家  
黒川地区に住む今西さん宅で、今年の炭の窯出しが始まりました。断面が菊に似た「菊炭」は火持ちが良く、茶席で重宝される逸品。100度以上の窯の中から焼けた炭を人力で運び出す作業は、初夏の6月ごろまで続きます。



## 1/22 高校生が選挙を知る

選挙啓発講演会に川西明峰高校から12人が参加  
市明るい選挙推進協議会が、選挙の重要性を伝える講演会とワークショップを市役所で開催。県立川西明峰高校の生徒を含む参加者はゲームに参加し、投票することで社会全体が良くなり、個人の生活も豊かになることを学びました。



## 1/27 丹精込めた花を表彰

花と緑のコンクール3部門の受賞者が決定  
市緑化協会が、まちに緑を増やすために開催した草花の写真コンクール。最優秀賞として、家庭緑化部門は木戸賢さん、学園緑化部門は牧の台幼稚園、地域緑化部門は大和みはらしクラブの皆さんが受賞しました。

## 「KAWANISHI DINNER」が県1位に

県広報コンクールで特選1部門、入選3部門を獲得  
シティプロモーションムービー「KAWANISHI DINNER」が映像部門で特選に、「広報かわにし milife」が広報紙・広報写真（一枚写真・組み写真の部）の3部門で入選に選ばれました。特選に選ばれた作品とウェブサイト・広報企画部門で提出中の作品は、全国広報コンクールへと推薦されます。また、昨秋に行われた近畿市町村広報紙コンクールでは、「広報かわにし milife」10月号が優良賞に選ばれました。



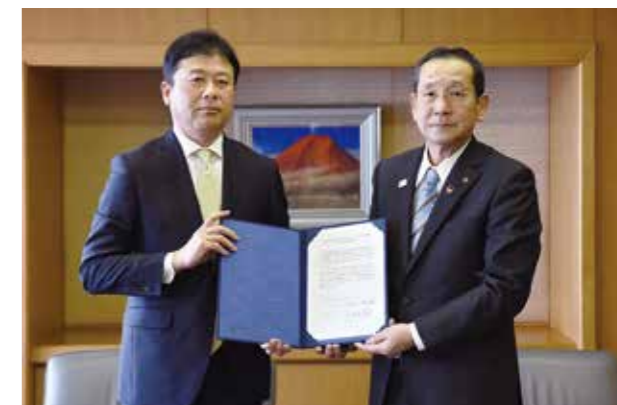
映像部門 特選 KAWANISHI DINNER  
講評（抜粋）【映像部門】  
多くの人たち、企業の協力をいただき、手を掛けて制作されており作品から熱い想いが伝わってくる。電車の中におしゃれなレストランが現れる設定などは、狙い通り、若い人たちにも受け入れられるだろう。

 広報紙部門 入選 12月号	 写真部門 一枚写真の部 入選 4月号	 写真部門 組み写真の部 入選 11月号	 広報誌 近畿市町村 広報紙コンクール 優良賞 10月号
-------------------------	---------------------------------	----------------------------------	---



## 1/25 市の安全安心に貢献

川西警察署の2人に「川西市市民の警察官」表彰  
安全で安心なまちづくりに日夜尽力したとして、警部補の森上洋幸さんと巡査部長の矢野将治さんに、市長が表彰状や市民の警察官章などを贈呈。また、警察官の衣装に身を包んだ川西北幼稚園の園児から、花束が手渡されました。



## 2/15 みなと銀行と協定

市見守り協力事業者ネットワーク事業  
市民の異変を迅速に把握し、必要な連絡支援体制を図る事業で、(株)みなと銀行と新たに協定を結びました。金融機関との協定は初めて。市長は、「なにごともないことが一番ですが、異変があったときは協力をお願いしたい」と話しました。